

# 第1回 新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会

日時：平成30年6月6日（水）15：00～17：00

場所：神戸市役所4号館1階 本部員会議室

## 議 事 次 第

### 1. 開 会

### 2. 検討委員会（委員の紹介・検討スケジュール）

- |                                |       |
|--------------------------------|-------|
| 「新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会 委員名簿」    | （資料1） |
| 「第1回 新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会 座席表」 | （資料2） |
| 「新・神戸文化ホール整備基本計画 検討スケジュール（案）」  | （資料3） |
| 「新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会 開催要綱」    | （資料4） |

### 3. 神戸文化ホールの現状等について

- |   |       |
|---|-------|
| 「神戸文化ホールの現状、近隣ホールの状況等について」<br>（参考資料：神戸文化ホールあり方検討のまとめ） | （資料5） |
|---|-------|

### 4. 議 事

- |                  |       |
|------------------|-------|
| （1）基本計画の構成案について  | （資料6） |
| （2）整備する場所について    | （資料7） |
| （3）規模・機能・仕様等について | （資料8） |

### 5. その他

### 6. 閉会

## 新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会委員

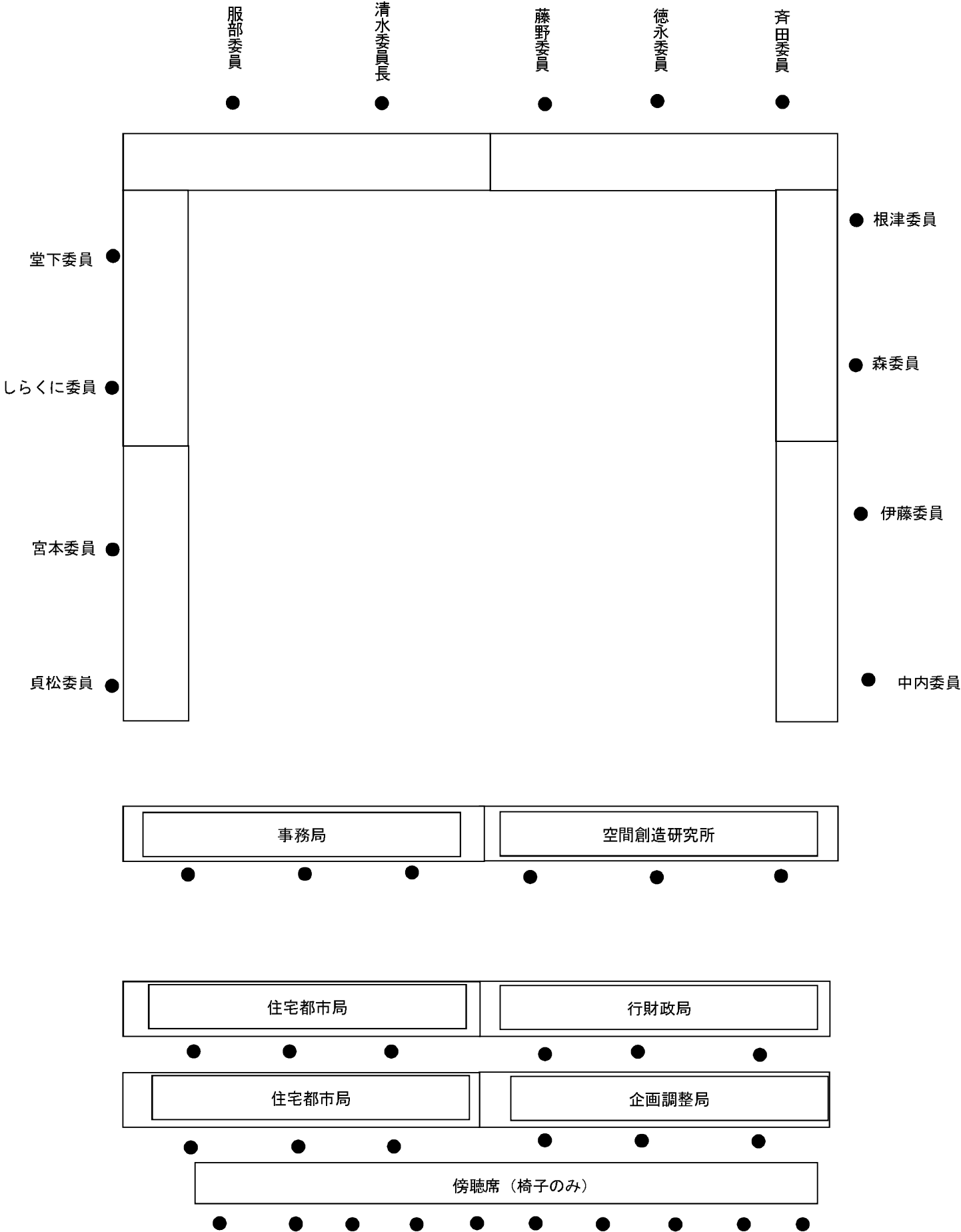
## (1) 整備基本計画検討委員会

	候補者	所属・役職	備考
芸術家 ・芸術文化団体関係者	貞松 正一郎	(一社) 貞松・浜田バレエ団 理事・芸術監督	洋舞分野 日本バレエ団連盟理事
	服部 孝司	神戸市民文化振興財団理事長	現神戸文化ホール指定管理者 神戸市室内合奏団、神戸市混声合唱団
	宮本 慶子	兵庫県音楽活動推進会議代表 神戸マリンバソサエティ主宰	器楽(洋楽・クラシック)分野 神戸芸術文化会議舞台芸術部会長
	森 もりこ	劇団自由人会代表 兵庫県劇団協議会代表	演劇分野 神戸文化ホール検討会議メンバー
学識経験者等	斉田 好男	神戸大学名誉教授 関西合唱連盟理事長	指揮、オペラ・管弦楽・吹奏楽 分野
	清水 裕之	名古屋大学名誉教授 文化経済学会元理事長	ホール空間計画分野
	徳永 高志	アートNPO ココア理事長 慶應大学文学研究科非常勤講師	ホール運営分野 H28年度文化ホールあり方検討外部委員
	根津 昌彦	(合) ゼンクリエイト代表 兵庫県合唱連盟理事	まちづくり・賑わい分野 三宮中央通りまちづくり協議会コンサルタント 三宮クロススクエア WS ファシリテータ
	藤野 一夫	神戸大学大学院 国際文化学研究科教授	文化政策分野
経済界	伊藤 紀美子	田嶋(株) 代表取締役社長	神戸商工会議所副会頭
	中内 仁	(株)神戸ポートピアホテル 代表取締役社長	経済同友会副代表幹事 MICE 担当
議会	堂下 豊史	神戸市議員	文教こども委員会委員長
	しらくに高太郎	神戸市議員	文教こども委員会副委員長

## (2) テクニカルアドバイザー

豊田 泰久 (音響設計家、(株)永田音響設計ロサンゼルス事務所・パリ事務所代表)

# 第 1 回 新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会 座席表



## 新・神戸文化ホール整備基本計画策定スケジュール案

		基本計画策定
6月	月上旬	○第1回検討委員会(6) ・新・神戸文化ホールの規模・機能・仕様等について ○任意パブコメ
	中旬	↓
	下旬	↓
7月	月上旬	○第2回検討委員会(11) ・「新・神戸文化ホール整備基本計画(素案)」について
	中旬	○任意パブコメ
	下旬	↓
8月	月上旬	↓
	中旬	
	下旬	○第3回検討委員会(未定) ・「新・神戸文化ホール整備基本計画(案)」について
9月	月上旬	○基本計画案の修正 ○条例パブコメ (最低30日)
	中旬	↓
	下旬	
10月	月上旬	↓
	中旬	○庁内調整 ○全委員周知
	下旬	○「新・神戸文化ホール整備基本計画」の公表
11月		

## 新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会開催要綱

平成 30 年 4 月 1 日  
市長決定

(趣旨)

第 1 条 (仮称) 新・神戸文化ホールの整備基本計画について、専門的な見地から幅広く意見を求めることを目的として、新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会(以下「委員会」という。)を開催する。

(委員)

第 2 条 委員会に参加する委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 地元芸術文化団体代表
- (3) 市会議員
- (4) 前 3 号に掲げる者のほか、市長が特に必要があると認める者

2 前項の規定により委嘱する委員の人数は、15 名以内とする。

(協力委員)

第 3 条 前条に掲げる者の他、協力委員を置くことができる。

2 協力委員は、専門家とし、テクニカルアドバイザーなどの名称により、委員会の円滑な運営に協力するものとする。

(任期)

第 4 条 委員の任期は、平成 31 年 3 月 31 日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長の指名等)

第 5 条 市長は、委員の中から委員長を指名する。

2 委員長は、会の進行をつかさどる。

3 市長は、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、前項の職務を代行する者を指名する。

(委員会の公開)

第 6 条 委員会は、これを公開とする。ただし、次のいずれかに該当する場合で、市長が公開しないと決めたときは、この限りでない。

(1) 神戸市情報公開条例(平成 13 年神戸市条例第 29 号)第 10 条各号に該当すると認められる情報について意見交換を行う場合

(2) 委員会を公開することにより公正かつ円滑な委員会の進行が著しく損なわれると認められる場合

2 委員会の傍聴については、神戸市有識者会議傍聴要綱(平成 25 年 3 月 27 日市長決定)を適用する。

(委員会の庶務)

第 7 条 委員会の庶務は、市民参画推進局文化交流部文化交流課において行う。

(施行細目の委任)

第 8 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の開催に必要な事項は、市民参画推進局長が定める。

附 則(平成 30 年 4 月 1 日決裁)

(施行期日)

1 この要綱は、平成 30 年 4 月 1 日より施行する。

(要綱の失効)

2 この要綱は、平成 31 年 3 月 31 日限り、その効力を失う。

## 1. 現・神戸文化ホールの現状と課題

《現状》 開館以来、地元の個人・団体から世界的なアーティストまで、多くの方に活用され、神戸の舞台芸術の中心となってきた。

《課題》 老朽化が激しく、既存不適格事項が多いため、リニューアルに多額のコストがかかり、長寿命化しても、後20年(～2038年)で本格建替が必要になる。

## 2. 今後の神戸のまちづくりにおける基幹ホールへの期待

人口減少社会、都市間競争の中で神戸が活力のあるまちであり続けるためには、文化ホールがまちの象徴となり、神戸のアイデンティティに磨きをかけ、個性を創造・発信していくことが必要。

## 3. 新・神戸文化ホールが目指す機能・役割

- ① 市民の誇りとなる、神戸らしい芸術文化の発信
- ② 市民主体の芸術文化活動の促進、更なる高度化の支援
- ③ 芸術文化を担う創造的人材の育成
- ④ 多様な人材が交流し、まちの賑わいを生み出す空間と経済波及効果の創出
- ⑤ 神戸の個性を発揮することによる「選ばれるまち」の実現
- ⑥ 芸術文化の普及啓発拠点として、誰もが芸術文化に触れる機会を提供

## 4. 建替の必要性

現文化ホールの課題であるバリアフリー化やトイレの不足等を解消し、今後のまちづくりにおける基幹ホールへの期待、新たな機能・役割等に応えていくためには、制約の大きい大規模改修では限界があり、建替を前提に検討していく必要がある。

## 5. 今後の検討に際して考慮すべき事項

### ① ホールの規模等検討の視点

- ・ 新・文化ホールが内包するホールの数・規模・座席数構成に関しては、小規模ホールの有用性、どの程度自主事業を展開していくのかや、新たな機能を具体化するために必要となるスペース、等を考慮しながら検討していく必要がある。
- ・ ホールの専門性(専用ホール)の導入の可否については引き続き検討していく。

### ② 建替に当たっての視点

- ・ 計画自由性、集客性、コスト、経済効果、発信力等を、十分に検討する必要がある。

## 他都市先進事例調査(抜粋)

《設置目的・理念》 近年の施設は、都市に新たな価値を生み出し、人々の交流を促し、まちを発展させるという思想を持っている。

《立地》 近年は拠点駅ないし衰退しつつある中心市街地に計画されることが多い。

《類型》 フランチャイズ楽団を持つ音楽専用ホール、中規模以下のホールを複数持ち創造発信型事業に特化したホール、都心に立地しまちに賑わいを生むホール等に大別される。

## ネットモニターアンケート等

- ・ 交通手段について、77.9%の人は不便さを感じないとしているが、JR利用の割合が高い東灘区、垂水区等で不便さを感じる割合が平均(22.1%)より高い。
- ・ 貸館利用者及び来場者は、「現在地がよい」とする割合が高い(貸館利用者:76.3%、来場者:44.8%)。一方、ネットモニターアンケートでは、神戸文化ホールの利用実績がない層において、「もっと交通の便のよい場所がよい」(43.3%)が、「現在地がよい」(30.1%)を上回っている。

## 貸館ニーズへの対応と芸術文化の創造発信機能とのバランス

## 1. 現文化ホールの利用状況

## ■ 自主・貸館事業に係る兵庫県立芸術文化センターとの比較(平成28年度)

		神戸文化ホール※1	兵庫県立芸術センター※2
大ホール	自主事業	18.9%	83.6%
	貸館事業	81.1%	16.4%
中ホール	自主事業	19.5%	84.2%
	貸館事業	80.5%	15.8%

※1 自主事業の件数にはロビーコンサートを含む

※2 H28年度兵庫県立芸術文化センター活動記録より)

※2 芸術センターの自主事業・芸術センター事業(「自主企画・プロデュース公演」「招聘・提携及び普及型公演」「県との共済事業等」「楽団事業」の合計数

## ■ 【参考】神戸文化ホールのみ(平成29年度)

		割合※
大ホール	自主事業	17.1%
	貸館事業	82.9%
中ホール	自主事業	25.4%
	貸館事業	74.6%

※ 自主事業の件数にはロビーコンサートを含む

## ■ 神戸文化ホール練習場利用状況(平成29年度)

	練習室1	練習室2	練習室3	練習室4	練習室5	合計
利用延件数(件)	444	731	780	699	782	3,436
利用人数	15,921	8,056	4,961	11,017	21,805	61,760
踏み入れ率(%)	87.2	99.7	99.7	98.3	100	97.0
実利用率(%)	69.1	86.6	91.5	80.9	90.2	83.7

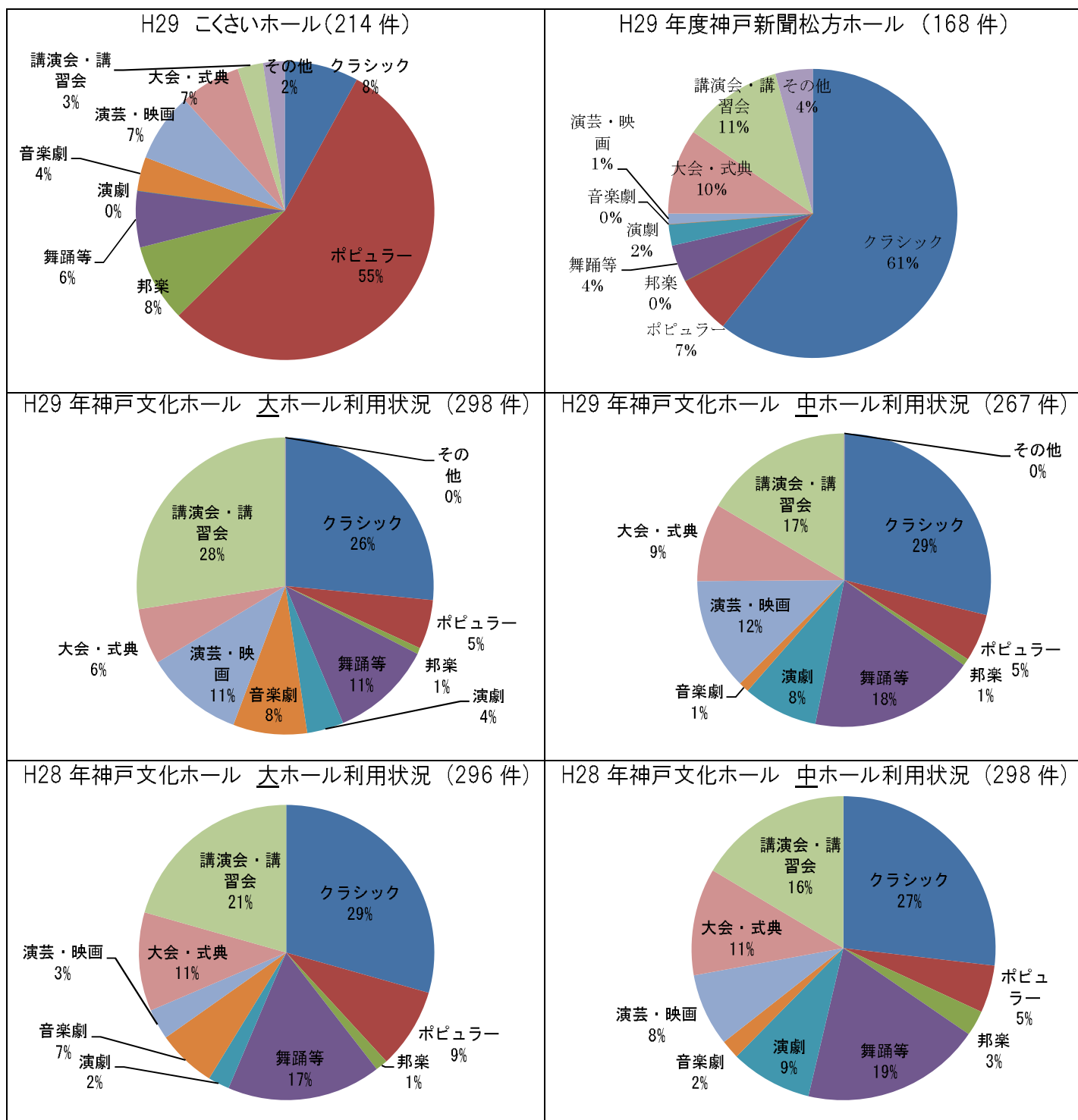
## 2. 利用状況に係る兵庫県立芸術文化センターとの比較

利用率(%)	H26	H27	H28	H29
神戸文化ホール (大ホール、中ホール平均) ※ 利用件数にて算出	73.7%	77.0%	80.5%	84.5%
県立芸術センター (KOBELCO 大ホール、阪急中ホール、 神戸女学院小ホール平均) ※ 利用日数にて算出	96.5%	98.2%	98.7%	—

(1) 利用率 (貸館・自主事業計)

	席数	H29		H28	
		利用率	平均入場者数	利用率	平均入場者数
こくさいホール	2,112	59.9%	1,623 人	61.3%	1,587 人
文化ホール(大)	2,043	83.8%	1,204 人	79.8%	1,249 人
文化ホール(中)	904	85.1%	487 人	81.2%	448 人
神戸新聞松方ホール	706	51.6%	318 人	47.5%	284 人

(2) 用途別構成比 (貸館・自主事業計)





資料5-4

施設名称	設置者	所在地	運営者	開館年	施設構成 (単/複合)	整備手法	ホール座席規模				施設概要 創造支援	その他
							ホール1	ホール2	ホール3	ホール4		
<b>■近畿</b>												
こくさいホール (神戸国際会館)	民間	兵庫県神戸市	神戸国際会館	1999	複合施設 (会議室、映画館、商業施設等)	—	—	—	—	—	—	—
神戸新聞松方ホール	民間	兵庫県神戸市	(一財)神戸新聞文化財団	1996	複合施設 (新聞社、オフィス、商業施設、飲食等)	—	706 音楽系	—	—	—	—	—
フェスティバルホール	民間	大阪府大阪市	(株)朝日ビルディング	2013	複合施設 (新聞社、オフィス、商業施設、飲食等)	—	—	—	—	—	—	—
ロームシアター京都	市	京都府京都市	(公財)京都市音楽芸術文化振興財団	2016 (再整備)	複合施設 (レストラン、ブックカフェ)	DB方式 (デザインビルド Design-Build)	2005 多目的	716 多目的	200 舞台芸術	リハーサル室3室 会議室2室(62.5㎡, 80㎡) 会議室ラウンジ室(各35㎡)	—	ローム・スクエア
岡山芸術創造劇場(仮称)	市	岡山県岡山市	未定	2022 (予定)	複合施設 (商業、オフィス、住宅)	再開発	約1,750 多目的	約800 舞台芸術	約300 舞台芸術 (大スタジオ)	約300 音楽系 (大練習室)	—	情報ラウンジ等
兵庫県立芸術文化センター	県	兵庫県西宮市	(公財)兵庫県芸術文化協会	2005	単体施設	従来手法	2,001 多目的	800 舞台芸術	417 音楽専用	リハーサル室2室(331㎡, 88㎡) スタジオ9室(22㎡×3, 11㎡, 82㎡)	—	インフォメーション、ロビー、ボックス レストラン、ショップ等
滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール	県	滋賀県大津市	(公財)びわ湖芸術文化財団	1998	単体施設	従来手法	1,848 多目的	904 多目的	323 音楽専用	リハーサル室(330㎡) 練習室3室(56㎡, 33㎡, 47㎡) ホワイティ(287㎡)	—	舞台芸術サロン、ショップ、レストラン、ラウンジ等
堺市民芸術文化ホール フェニクスエッセ	市	大阪府堺市	(公財)堺市文化振興財団	2019秋 (予定)	単体施設	従来手法	2,000 多目的	—	312 多目的	ホワイティ(287㎡) ホワイティ3(18, 36, 64㎡) 文化交流室(233㎡) 多目的室(161㎡)	—	展望ガーデン、空中歩廊、交流・創作カレリア、レストラン
(仮称)堺都市 文化コンベンションセンター	市	兵庫県姫路市	未定	2021年秋 (予定)	単体施設	従来手法	約2,000 多目的	約700 多目的	約180 多目的	メインスタジオ(リハーサル室)約270㎡ スタジオ(練習室)大1室、中2室、小3室 会議室(多目的ホール)大3室、中5室、小2室 展示場(約4,000㎡)	—	にぎわい広場
<b>■全国</b>												
ホルトホール大分 市民ホール	市	大分県大分市	ホルトホール大分みらい共同事業体 (代表者: 日本曹達株 構成員: 日本曹達株、 リンクケージ、株、フランチャイズ大分、学 校法人(後継学園))	2013	複合施設 (図書館、総合社会福祉保健セ ンター、産業活性化プラザ、カ フェ、保育所、商業、オフィス等)	再開発	1,200 多目的	—	202 多目的	スタジオ3室(33㎡, 18㎡, 8㎡)	—	—
神奈川芸術劇場 KAAT	県	神奈川県横浜市	(公財)北神奈川芸術文化財団	2010	複合施設 (放送局)	再開発	1,282 舞台芸術	—	224 舞台芸術	スタジオ3室(251㎡)・ホワイティ(147㎡) アトリエ(149㎡)	—	チケット・インフォメーション、レスト ラン等
ミュージアム川崎市 シンフォニーホール	市	神奈川県川崎市	川崎市文化財団グループ (代表者: (公財)川崎市文化財団 構成員: 株、シグマコミュニケーション ズ/サンアリーナ/パブリシティ/サービス株)	2004	複合施設 (商業施設、オフィス)	再開発	1,997 音楽専用	—	—	市民交流室(136.5㎡) 練習室3室(40.9㎡, 70.8㎡, 41.0㎡) 研修室4室(67.3㎡, 47.1㎡, 47.7㎡, 38.4㎡) 会議室3室(55.7㎡, 58.7㎡, 48.7㎡)	—	企画展示室(213.4㎡) ショップ等
福岡県北九州市	市	福岡県北九州市	(公財)北九州市芸術文化振興財団	2003	複合施設 (商業施設、放送局)	再開発	1,289 多目的	700 舞台芸術	216 舞台芸術	市民劇場(貸出なし)	—	市民ギャラリー、ライブラリー等
札幌市民交流プラザ 札幌文化芸術劇場hitaru	市	北海道札幌市	(公財)札幌市芸術文化財団	2018.10 (予定)	複合施設 (図書館、情報館、放送局、オフィ ス等)	再開発	2,302 多目的	—	—	オーブンスタジオ(150名)、 ワークスタジオ2室(各82㎡) プロジェクトルーム4室(各36㎡) 中練習室2室(47㎡, 55㎡) 小練習室3室(27㎡, 25㎡, 28㎡) 控室(楽屋)19室等	—	クリエイティブモール、屋内広場 等
熊本城ホール	市	熊本県熊本市	熊本城ホール運営共同事業体 (代表者: 株、コンベンション/シンコー 構成員: 株、ハースト24、株、キョードー 東京 大亜ビルサービス株)	2019夏 (予定)	複合施設 (商業、ハステタ、ホテル、バンケッ ト、シネコン、保育所、住宅等)	再開発	約2,300 多目的	300~750 多目的	イベント ホール 約1,630㎡	会議室19室	—	イベントラウンジ、ロビー等
いわき芸術文化交流館 アリオス	市	福島県いわき市	いわき市(直営)	2009	単体施設	PFI	1,840 多目的	687 多目的	233 舞台芸術 (別館)	大リハーサル室(約243㎡) 中リハーサル室(約172㎡) スタジオ4室(41.7㎡, 16.4㎡, 17.2㎡, 22.4㎡) (別館)中練習室2室(102.0㎡, 98.0㎡) 小練習室3室(30.2㎡, 30.2㎡, 58.3㎡, 58.3㎡) 稽古場4室(36.3㎡, 38.3㎡, 106.9㎡, 103.0㎡)	—	キッズルーム、アリオスラウンジ(市 民活動室)、カスケード(交流口 ビル)、カンパニー、屋上テラス、 レストラン&ショップ等
福岡市拠点文化施設	市	福岡県福岡市	未定	2023 (予定)	単体施設	PFI (予定)	約2,000 多目的	約800 舞台芸術	約150 多目的	リハーサル室等	—	—

方式

新・神戸文化ホール整備基本計画 目次（案）

**1. 新・神戸文化ホールの整備方針**

- (1) 基本計画の位置付け
- (2) 新・神戸文化ホールが目指す役割

**2. 事業の考え方**

- (1) 事業展開の基本方針
- (2) 事業内容

**3. 管理運営の考え方**

- (1) 管理運営の基本方針
- (2) 組織体制の基本方針
- (3) 収支計画の考え方

**4. 施設計画**

- (1) 基本性能の整理
- (2) 主たる機能諸室の検討・整理
- (3) ゾーニングの考え方
- (4) 留意事項

**5. 整備手法・整備費概算**

- (1) 整備手法
- (2) 整備費概算

**6. 整備スケジュール**

- (1) 整備予定地
- (2) 整備スケジュールの整理

**7. 今後の検討課題**

整備する場所について



	三宮駅周辺地区 (バスターミナルビル・本庁舎2号館)	ウォーターフロント (新港突堤西地区)
将来像	三宮周辺地区の『再整備基本構想』 <ul style="list-style-type: none"><li>都市間競争において選ばれるための魅力・活力の創造</li><li>市民が日常的に利用できる、にぎわい空間の創出</li><li>神戸の玄関口にふさわしい商業や業務、文化、交流機能の集積と更新</li><li>地区内及び周辺地域への回遊性向上</li></ul>	『神戸港将来構想』 <ul style="list-style-type: none"><li>国際集客エリアとして、世界から人をひきつける都心WF等のにぎわいの創出</li><li>新たなランドマークとなる神戸港のシンボル景観の整備</li><li>クルーズターミナルの再整備</li><li>インバウンド・MICE等</li></ul>

整備に当たっての視点	三宮周辺地区 (ハスターミナルビル・ 本庁舎2号館)	ウォーター フロント (新港突堤西地区)
<b>(1) 集客性</b> ①市内からの交通アクセスの利便性（公共交通機関） ②市外からの交通アクセスの利便性（公共交通機関） ③主要駅からの移動のスムーズさ・移動時間 ④雨天時の主要駅からの濡れないアクセス ⑤道路交通網の整備状況 ⑥駐車場の有無及び駐車台数 ⑦市民交流促進効果 ⑧周辺の集客・にぎわい施設との連携可能性	○ ○ ○ ○ — — ○ —	△ △ △ △ — — △ —
<b>(2) コスト</b> ①建設コスト（土地取得・建築等コスト） ②運営コスト ③周辺の飲食・宿泊・商業等多様なサービスの活用可能性	— △ ○	— ○ △
<b>(3) 経済効果</b> ①周辺の飲食・宿泊・商業等への波及度（消費喚起効果） ②周辺集客ニーズとの適合性	○ ○	△ △
<b>(4) 発信力</b> ①シンボル感、存在感 ②場所自体の著名度、個性（オリジナリティ） ③ホールの立地による相乗効果	△ ○ —	○ △ —
<b>(5) その他</b> ①事業の継続性（休館の要否） ②移転の際の周知の容易さ ③周辺類似施設との競合度 ④まちづくり計画等への位置づけ	— ○ △ ○	— △ ○ △

組合わせのバリエーション	①	②	③
想定される施設及び規模	性能・機能・設備など		
<p>大ホール 1,500席以上</p>	<p>【多目的】 (例) ●プロセニアムを基本とする舞台 ●奈落 (床機構設備別途検討) 有 ●オーケストラピット (客席ワゴン格納庫) 有 ●可動音響反射板 有 ●多層ハルコニー客席</p>		
<p>中ホール 700～900席</p>	<p>【多目的】 (例) ●プロセニアムを基本とする舞台 ●奈落 (床機構設備別途検討) 有 ●オーケストラピット 有 ●音響反射板 有 ●多層ハルコニー客席</p>	<p>【音楽専用】 (例) ●シューボックスタイプ ●多層ハルコニー客席  シューボックス：音楽ホールを代表するホール形状。平断面が長方形のワンボックスのホールで、短辺の一方を舞台とする。</p>	<p>【舞台専用】 (例) ●プロセニアムを基本とする舞台 ●奈落 (床機構設備別途検討) 有 ●主舞台：東立床組 ●オーケストラピット 無 ●音響反射板 無 ●多層ハルコニー客席</p>
<p>区民ホール 500～700席</p>	<p>【多目的】 (例) ●プロセニアムを基本とする舞台 ●奈落 (床機構設備別途検討) 有 ●音響反射板 有 ●多層ハルコニー客席</p>		
<p>創造支援</p>	<p>下記の諸室を整備されるホールと実践する活動に応じて、適宜配置することを検討する (例) ●リハーサル室、練習室、録音スタジオなど (ホールとの組合わせにより、広さ、設備、性能を検討) ●活動を支える楽器庫、譜面庫、衣裳室、などを検討 ●創造支援諸室の活動をに必要な専門スタッフの控室、更衣室、打ち合わせ室などを検討</p>		
現文化ホールの規模	<p>大ホール &lt;多目的&gt; 2,043席</p>	<p>中ホール &lt;多目的&gt; 904席</p>	<p>区民ホール なし</p>
<p>リハーサル室：1 (260㎡) 楽屋：14 (計497㎡) 多目的室：1、特別控室：2 練習室：5 (男女共同参画センター内)</p>			